

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一・六・六
Tel: 三四・四七二
毎週一回発行

12月議会

根本みはる市議の一般質問その③ がん検診の受診につながる取り組み

厚生労働省のハンドブック「エビデンスに基づく全国」の取り組み分析」では、令和4年度大規模実証事業で、これまで全国でおこなわれてきたがん検診受診率向上の施策を集約し、協力自治体で実施することにより、どのような手法で取り組むことが効果的であるかを検証しました。また、全国すべての市区町村に対し、各自治体を実施する令和3年度がん検診における取組について、アンケート調査への協力を依頼。その回答と令和2年度の各自治体の受診率を突合し、統計解析を実施した結果、受診率向上につながる可能性のある取り組みを多数発見することができたとして紹介しています。

活習慣に気を付けることで、がんのリスクを減らすことができますが、すべてのがんを予防することはできません。そのため、がんを早期に発見し、適切な治療を受けることが、がんによる死亡を減らすために重要になります。」



乳がん検診の受診率

12.6%

子宮頸がん検診の受診率

9.5%

質問

令和6年度における乳がん検診、子宮頸がん検診の受診者数、受診率は。

答弁

①住民税非課税で自己負担免除の状況（令和6年度）

②75歳以上の受診状況は、左表のとおり

	住民税非課税の方		75歳以上	
	受診者数(人)	受診率	受診者数(人)	受診率
乳がん	9172	12.60%	193	20.90%
子宮頸がん	7,852	9.50%	162	10.60%

乳がん・子宮頸がん検診の自己負担の軽減を

質問

令和6年度の乳がん検診、子宮頸がん検診の受診者1人当たりの市費負担額は

答弁

健診受診者1人当たりの市費負担額は、乳がん検診は6,955円、子宮頸がん検診は6,035円。

質問

がん検診の自己負担額の軽減が必要だが、考えは。

答弁

軽減の必要性を見極める。

受診率向上に向けて、対象者への受診勧奨通知やピンクリボンキャンペーン等、市民への啓発に務める。

無料クーポン券の利用による受診状況

子宮頸がん検診6.2%

乳がん検診 1.5%

質問

令和6年度の子宮頸がん検診、乳がん検診の無料クーポン対象年齢の受診率は。

答弁

子宮頸がん検診については、受診者数136人、受診率6.2%、乳がん検診については、受診者数380人、受診率15.0%。

無料クーポン券の対象の拡大を

質問

無料クーポン券の回数・対象の拡大の考えは。

答弁

国の制度に基づく事業のため、無料クーポン券の対象を拡大する考えはないが、国などの動向を注視する。

根本市議は、検診の無料クーポン券の回数を増やし、病気の予防につながるとして、検診の促進を求めました。

- ◆法律相談は弁護士が第2土曜日 午前10時~12時で
- ◆生活相談は随時、根本議員が応対
- ◆法律相談は要予約。お申し込みは日本共産党西三地区委員会まで
電話 0564-23-2785
- ◆生活相談は根本議員まで
電話 0565-34-4772

無料

法律・生活相談
おこなっています



根本みはる
豊田市議員



もとむら伸子
衆議院議員



すやま初美
党中央委員

保育の質の確保は通常保育の充実で

12月議会に上程された議案のうち、委員会で根本市議が行った質疑と答弁の一部を紹介し
ます。

豊田市立豊松こども園を廃止する条例

【質問】

豊松こども園が休園期間の、近隣の松平こども園の待機児童の状況。(当初・年度途中) 定員に空きがなく、希望者が入れない状況は無かったか。

【答弁】

豊松こども園が休園となった令和6年度から令和7年度の待機児童(年度途中の待機児童数については、算定方法を検討中のため、松平こども園に申し込みのあった人から育休延長を許容できる人を除いたものを待機児童としている。)

- ・令和6年度
4月1日時点の待機児童0人
年度途中の待機児童数は
0〜2歳児 11人
3〜5歳児 3人
- ・令和7年度
4月1日時点の待機児童0人

年度途中の待機児童数(令和7年12月1日現在)
0〜2歳児 5人



子ども誰でも通園制度に基づく新規条例

子ども誰でも通園制度は、2026年4月1日からは給付事業として全自治体で実施するとされているため、実施主体となる自治体は否応なく、準備に追われています。国主導で見切り発車のため、国の検討会で示された方針についても、専門家から課題が指摘されています。

【質問】

職員配置基準について、子どもにとって通常保育と違う条件(短い利用時間、緊急的・臨時的)であるが、通常保育と同じ配置基準とする考えは。

【答弁】

「子ども誰でも通園制度」の目的に、「全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な生育環境を整備すること」とあり、この制度を安全に運用できる環境を整える必要がある。

このため、通常の保育と同様に、設備や保育士の配置においては、国の基準を上回るよう設定し(子ども5人に職員1人)、1人1人のこどもを大切にお預かりするとともに、保育の質の向上を図っていく。

【質問】

より手厚い支援が必要な子どもが、安全かつ安定した支援を受けられるために、基準の検討は。

【答弁】

医療的ケアなど特に配慮が必要な子どもの受入れについては、受け入れる施設においては通常とは異なる準備や体制が必要になるため、受入れ可能かどうかを含め、現在、必要事項を検討している。

【質問】

時間ごとに配置基準を満たすことが求められるが、1時間ごとに子どもの人数が変わる場合、保育士も短時間で入れ替わる配置となるのか。

【答弁】

施設の定員に合わせて職員を配置する予定であり、子どもの増減で配置を入れ替える予定は無い。

【質問】

制度上、保育士は正規・常勤と定められておらず、配置する有資格者も半数以上の配置であればよいとされているが、正規・常勤・有資格の職員で安定した配置を確保し、特に職員2名の配置となる際は、2名とも有資格者を配置する考え。

【答弁】

保育士の配置は、通常の保育と同様に、正規職員と会計年度任用職員を配置予定で、可能な限り有資格者を配置できるようにしていくが、採用状況や勤務体制により、職員2名のうち1名が資格を保有しない職員配置となる場合もある。

【根本意見】

職員配置基準について、通常保育のように、子どもが毎日通い、園で生活する環境と異なり、利用可能時間も短いため、より1人1人に対応する保育士の配置が必要。「無資格

革新懇 3日行動

1月3日のスタンディングはありません。

2026年 2/3 (火) 12:30

市駅西マック前

の職員も配置できる」として、いることから、保育の質の確保の点で問題。

金曜行動 泊原発 再稼働許すな

12月26日(金)

午後6時 ~ 7時

豊田市駅西
マック横広場集合

主催：さよなら原発豊田市民行動連絡会